

6月に入り、例年ではそろそろ梅雨が気になる頃ですが、今年は梅雨真っ盛りという様子で、梅雨明けの気候がたいへん気になりますね。その頃には、求人票受付が始まり、就職戦線が本格化してきます。しっかり準備を整えていきましょう。現在、すでに専門学校のAOエントリーが始まっており、今週末から実際に面接(面談)に臨む生徒が出てきます。6月は平日に休みがない唯一の月で、体育大会や農業クラブ校内大会などがある忙しい月でもあります。体調に留意し、進路実現に向けて学業に励んでください！

第2回：日本学生支援機構奨学金(予約採用)申込について

※学校全体としては第2回の申込を最終としますので、希望者は期限に遅れないようにしてください。また、希望進路の変更や家庭状況の変化等で締切日以降に本奨学金の予約申込を希望する場合は、担当者まで個別に相談に来てください。

【申込書類の提出】6/14(月)〆切

【申込内容の入力】6/21(月) 15:45～情報処理室

当日が当番の生徒は6/23(水)15:30～情報処理室

【マイナンバーの郵送】『申込内容の入力』後、1週間以内に所定の封筒にて郵送



すでに5月にWEB入力を済ませた生徒は『マイナンバー届出書』を日本学生支援機構に郵送しましたか？まだの生徒は速やかに郵送するようにしてください。

進路実現に向けて⑤ ～合格の鍵～

今回は「受験の壁」についてお話しました。今回はそれを乗り越えた後の「合格の鍵」についてお伝えしたいと思います。就職試験や本校生が受験する進学試験(入試)では、ほぼ100%面接試験が行われます。そして、面接でよく質問される双璧が「志望動機」と「自己PR」です。つまり、この2つの質問に完璧に答えることができれば、一気に内定(合格)に近づきます。



「志望動機」のポイントは必ず「その企業(大学・短大・専門学校)でないといけない理由をしっかりと伝えること」です。しかし、これはなかなか難しいです。まずは進路先を徹底研究する必要があります。そして、あなた自身が就職後(進学後)にやりたいことを整理しておく必要があります。その上で、進路先が求める人物像とあなたの将来像をマッチングさせる必要があります。

「自己PR」のポイントは必ず「努力して身につけたことを上手に伝えられるかどうか」です。面接では「努力して身につけたこと」が大きく評価される傾向があります。例えば「中学時代は苦手だったけど、高校入学後に努力して身につけたこと」などが挙げられます。それは勉強・検定などの学習面、部活動・委員会活動・プロジェクト活動などの特別活動、積極性・協調性・コミュニケーション能力など内面に関わることなど、さまざまです。そして、それを「上手に伝えられるかどうか」のポイントは具体的なエピソードを交えることです。それが「根拠＝説得力」になります。

最後に「志望動機」と「自己PR」を成功に導くために、今やらなければならないことを2つ挙げておきます。1つ目は、自分を知ることです。進路の基礎は「自己分析」にあります。すでに第1号(4月16日発行)でお伝えしましたが、困っている生徒は、箇条書きで構わないので「自分は何に喜怒哀楽を感じるのか」というところからスタートしてみてください。2つ目は「自己PR」用に武器を増やすことです。勉強・検定・部活動・当番活動・課題研究・プロジェクト活動・寮生活などすでに頑張っていることを今以上に頑張ることです。そして、頑張らなければならないとわかっていても、つい後ろ向きになってしまうことに、逃げずに真正面から取り組むことです。それが、いざ大切な試験の時に、合格への扉を開ける特別な鍵になっているはずです。

